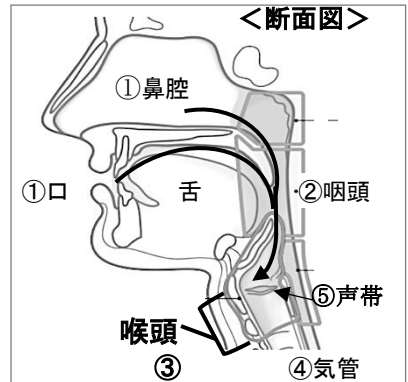


# クループ症候群

愛媛医療生協

## 【クループ症候群とは？】

ヒトの気道＝空気の通り道は①口・鼻→②咽頭→③喉頭→④気管そして最終的に気管支・肺につながります。喉頭には⑤声帯がありそのすぐ下は気道の中で一番狭くなっています。クループ症候群は、喉頭に炎症が起こって粘膜が腫れ、気道が狭くなった状態です。息を吸った時にヒューヒュー音が鳴る、犬(or オットセイ)が吠えた様な咳が出る、声が枯れる時はクループ症候群の可能性がります。



## 【原因・病態】

小児の気道の内径は大人と比べると狭いのが特徴です。よって風邪の原因ウイルス（パラインフルエンザウイルス、インフルエンザウイルス、アデノウイルス）などが感染し喉頭に炎症が起こると、粘膜が腫れて気道の内径がとて狭くなります。またアレルギーや異物混入でも狭くなることがあります。狭い所を空気が通るので息をすった時に喉元でヒューヒュー音がなり、咳で勢いよく空気が吐き出されるので犬（or オットセイ）が吠えた様な咳がでます。喉頭にある声帯が腫れると声が嘎れます。

## 【好発年齢、時期】

3ヶ月～3歳、特に1～2歳を中心とした乳幼児に多く見られます。男の子と女の子では男の子の方がクループ症候群になることが多いです。（女子の1.5倍）

## 【症状】

最初に鼻水、微熱といった一般的な風邪症状が現れます。1～3日程度経過すると以下の特徴的な症状が現れます。

吸気性喘鳴：息を吸った時にヒューヒュー鳴る  
犬吠様咳嗽：犬、オットセイの様な咳  
嘎声：声がかすれる、こもる



★陥没呼吸（みぞおちが凹む呼吸）、鼻翼呼吸（鼻がピクピクする呼吸）は重症のサインです。適切に対応しないと顔面蒼白、チアノーゼ、意識障害が起こり、まれに生命に関わることもあるので必ず医療機関を受診しましょう。

## 【治療】

①呼吸症状が軽度の場合は外来で治療することができます。具体的にはエピネフリン（ボスミン）というお薬を生理食塩水で薄めて吸入します。これにより喉頭の粘膜の腫れを軽減させることができます。一緒にステロイドの吸入をすることもあります。重症化しそうな場合でも、外来でステロイドの飲み薬の内服により炎症が和らぎ入院が避けられる可能性があります。



②呼吸症状が強く、①で良くならない時は入院治療をします。①の治療に加えステロイドの点滴をします。呼吸状態が悪い場合は酸素を投与します。炎症で気道が狭くなりすぎた場合、気管内挿管・人工呼吸が必要になる事もあります。

## 【予後】

治療が効いて気道の炎症が良くなれば、後遺症が残る事はありません。声帯に炎症がある場合は、1～2週間声枯れが続く事もありますが自然に改善します。

## 【おうちで気をつけること】

- ・夜間に突然症状が悪化することが多いので子どもの様子を見てあげましょう。
- ・空気が乾燥すると刺激になり症状を悪化させることがあるので、少量頻回の水分摂取などで、喉の乾燥を防ぎましょう。
- ・苦しくて横になって眠れない、呼吸の異常（みぞおちや肋骨が凹む、鼻ピクピク、肩が上下する）等を見たら、すぐに病院を受診しましょう！

## Q&A ずっとクループ症候群のような症状が続きます。大丈夫ですか？

- A. 息を吸った時にヒューヒューする等の症状が慢性的に続く場合は構造上の異常や異物が原因で気道が狭い可能性があります。かかりつけの先生に相談しましょう。

## Q&A クループ症候群の中にはウイルスによるクループ以外に細菌が関係するクループもあると聞きました。どんな菌が関係しますか？

- A. 喉頭入り口には食道と気管を分けるドア＝喉頭蓋があります。インフルエンザ菌B型（ウイルスとは別）が感染すると、喉頭蓋炎に起こり、腫れた喉頭蓋で気道の入り口が閉ざされそうになることもあります。  
(Hib ワクチンが普及した近年はほとんどありません。)



(2020. 8. 29)